

いっぱんしつもん

市民公開の事業仕分けで行財改革を

自由民政クラブ 中村 義一

問 秩父市で行っている事業には市民の目線で見ると問題のある事業が少なくない、借入金も多大で財源不足が心配される状況であり行財政改革のために事業の縮小、廃止、見直しを議会で指摘するが限界があり、専門家や市民の参加した公開の席で「事業仕分け」を実施して大なたを振るう時期であると思うが、市長の決断を問う。

答 厳しい財政のなか、諸事業を運営しているが、市民目線での事業を考えることは大切なことであり、来年度に「市民公開の事業仕分け」を実施したい。

●秩父市立病院の充実

問 秩父地域の中核病院として、診療所や医院との役割分担をしてより専門性を持った2次救急医療病院として充実出来ないか、また開放型病床設置についての問題点について病院長の考えを問う。

答 現状は夜間休日の救急患者の受け入れでは、軽症の患者も救急病院へ集中し手一杯の状況であり診療所等との住み分けが出来なければ、医師不足と看護スタッフの不足もあり現時点ではより専門的

な病院への充実には困難な状況である。特に来年度から救急輸送制病院が、現在の4病院から3病院へ減少するので市立病院の負担はさらに大きくなり、開放型病床設置については、地域開業医の協力を得た、より良い入院治療を考えた場合、まずは市立病院の常勤医師および看護師の確保が最大の課題である。



秩父市立病院

市民生活の安心・安全をめざして！

日本共産党秩父市議団 斎藤 捷栄

●国民健康保険の現況と税率統一について

問 平成20年度は、後期高齢者医療制度の発足に伴って、被保険者世帯、被保険者数とも大幅に減少しているにも拘らず、滞納世帯、滞納金額は減少していない。このことは保険料が高くて「払いたくても払えない」人が多くなっている実態を示している。1984年当時国民健康保険財政の50%近くを占めていた国庫負担率が、今日27%台まで落ち込んでいることが最大の原因だ。今なすべきことは税率統一による保険料の値上げではなく、国に対して負担率を元に戻すことを要求し、国民健康保険財政の安定、保険料の引き下げを図ることではないか。

答 滞納率が増えていることについては、納付率の高い高齢者が制度変更によって後期高齢者医療制度へ移行したことが大きな原因と考えている。国庫負担率については、主張の趣旨はよく理解できるので、市として国に対して負担率を上げるよう要求して行く。

●市税等の納期と負担の平準化について

問 市税等の納期は、各月の負担を均衡させるために、納期の平準化を進めるべきではないか。

答 納期は、地方税法に基づいて決められており、現状では画一的に納期の平準化を計ることは困難であると考えているが、なお今後研究していきたい。納付が困難な方等については、納税猶予や分割納付について、個々に対応しているので相談して欲しい。



国民健康保険証と市税等納税通知書

いっぱんしつもん

武甲山の修景その3

秩父の家郷景観を再生

自由民政クラブ 今井 武蔵

問 (1)こころの山秩父武甲山今昔展、武甲山容の総合写真展、記録映画「武甲山(田代章治制作)」

武甲山の定点観察30年(宇根より)展、武甲山植物の保存と移植の現状展等、1週間で参観者多数好評。(2)秩父神社園田宮司提起の、名峰「武甲山」を中心に秩父の家郷景観と再生のプロジェクト。武甲山の全面的修景をめざすブランドデザイン構築の総合施策取り組み。

(3)秩父ジオパーク構想の推進方。(4)埼玉県立秩父園芸景観学校設置。

答 ○武甲山の総合的な写真展盛況。秩父を見守る神の山、心の山、武甲山の神を春迎へ、冬お山へ送る壮大なまつりで私達秩父の大切な財産であり貴重な神事。この写真展に1300人来場。東京豊島区で開催すれば武甲山の注目施策。○秩父ジオパーク・大地の公園、秩父の資産の継承を1市4町で推進のため、まるごと博物館構想を取り組み。

○園芸景観学校の設置は、秩父の方向に合致し民間で進める。秩父の自然・風土の中で文化的施策は新分野であり、芝桜、花の回廊、癒しの森等総合的視野で取り組み。

秩父市環境施策の推進

問 ごみ分別回収の徹底、水質保全条例制定で水源地保護策、秩父環境市民会議設置による環境施策。

答 各項取り組み、市民会議設置は秩父環境連絡協議会に、市も構成員加盟し促進する。



県北美術展「五十年の変遷」より武甲山全景(昭和34年 高瀬愛吉氏撮影)

- ◎住民自治による自主的事業推進
- ◎緑の回廊を秩父全域ルート設置
- ◎パイオスタウン総合取り組み
- ◎小中学校の社会科展好評継続を
- ◎秩父夜祭宵宮、本祭の総括

「市民会館」と「市役所庁舎」

自由民政クラブ 新井 豪

問 耐震性能が極めて低い両建物。余裕が無い財政だが、市民皆さんが利用し避難所機能も考えられるため市民会館は「移転・新築」市役所は経費を考慮して「改修」にすべきでは。

答 セメント工場跡地に建設計画のある「ふるさと学習センター」に市民会館の機能を併設する事を協議中。市役所は耐震改修よりも安価な移転・新築を検討している。

ミューズパークの活用

問 子供のアレルギー予防には、幼児期に動物園等の施設の空気に触れる事が有効と言われる。園内に牧場等の施設、または市営馬場は設置できないのか。

答 都市公園条例により馬場設置は困難だが、動物施設の設置は研究課題とする。

「教育環境」について

問 「稲作体験事業」を全小学校で実施できないか。

答 学校応援団等の皆様の意見を集約し、情報収集する。

問 派遣ALT(外国語指導助手)の業務委託契約は労働者派遣法違反である。改善するのか。

答 改善するようにと、国・県からも通達が届いているので、契約形態を見直していきたい。



耐震構造の問題を抱える市民会館と市役所庁舎

- ◎外国人観光客の誘客について
- ◎成人式のあり方について

いっぱんしつもん

和銅遺跡入り口、看板について

自由民政クラブ 高野 安之

問 和銅遺跡の観光価値をどう思っているか。

答 文化的にも、観光資産的価値も充分あると認識。

問 我が国初の「秩父銅」産出を元明天皇が大変喜ばれ「元号を「和銅」としたのにふさわしい看板に直すか。また国道に道路案内板標識も取り付けてもらいたい。

答 塗り直すなどの処置をしたいが、大きく立て替えは、周辺の環境に配慮から慎重に検討したい。道路案内板については、秩父県土整備事務所に要望したい。

問 前議会、他の議員の質問には、文化財保護の立場である教育委員会答弁であった。文化財保護の見地であっても、観光的に取り組めるモノであったなら、市長部局の産業観光部門が積極的に取り組むべきではないか。今回の答弁者が観光振興課を所管する産業観光部長であったことから、そのように進められると理解してよいか。

答 (特に答弁はなかった。)

●「営業部」の創設について

問 市政も民間企業的な意識を持つよう「営業部」の創設について。



国道140号線黒谷遺跡入り口に立つ看板

答 職員の意識を高め、企業感覚で任務に当たる点で大変参考になる。今後、研究したい。

●火葬場建設に合併特例債を

問 合併特例債を活用して市営火葬場建設について、市長はこの非常時財源確保・努力もせず、現状のまま建設していくか。

答 特例債活用は1市4町にとつて負担額低く相当なメリット有。近日常、県担当者とは法、問題を協議。

人口減対策について

自由民政クラブ 金田 安生

問 中長期的視点に立つと、人口減対策が最優先課題と思う。地域内に働く場が拡大することが、この問題を解決する唯一の方策と考

える。企業育成と誘致の専門セクションを設置し、機動力のある強力な組織を作り、行動を起すべきと思うが。

答 産業振興課が企業育成と誘致に取組んでいる。組織的な体制強化策は考えていない。必要に応じて市長自らが積極的に行動し対応する。

●職員の意識について

問 市職員の対応や言動等で市民の印象は「お上」目線と感じる人も多い。市民スタッフ意識への改革が求められている。

答 事ある度に現場主義の徹底を指示している。更に徹底を図っていく。

●防災体制について

問 地域の町会で指定する一時避難先の耐震強度は大丈夫なのか。

答 一時避難所は各町会の自主性に任せており、市は関与していない。よって耐震についての調査は

していない。

●計算機システムの切替えについて

問 基幹系システムの業者切替えが行われていると聞いている。進捗状況は。また、沖縄浦添市は独自でシステム開発しコスト削減を図っていると思う。市も参考にしたい。

答 業者側の事情で切替えることになった。来年9月より新業者に切替わる。浦添市の話しは承知している。今後の参考としたい。



日曜日でも閑散とする秩父駅前

いっぱんしゅもん

水道料金減額制度創設

公明党 福田恵子

問 所得格差が広がり生活が厳しい時、個人福祉減額、福祉医療施設等減額制度を創設する考えは。

現在3件。他は調査していない。
問 当市の取組は。
答 平成22年4月施行予定、本市の状況に応じた施策を実施する。

●パブリックサポートサービスマス

問 包括的民間委託、官民パートナーシップ型事業推進の考えは。

問 エコツーリズム推進法に基づいた認定への取り組みは。

答 地元企業等と柔軟に研究する。
公立文化施設を環境観光文化都市ちちぶの芸術文化振興の柱に。
市民の皆様との協働で推進。

答 ちちぶまちなか散歩、いってんべえウォーク、サイクルトレイン等エコツーリズムに取り組み中。
問 宿泊観光客入込客数は。
答 平成19年43万4千人、20年44万4千人。滞在型観光推進のため秩父ジオパーク構想、定住自立圏構想の中で関係機関と連携を図る。

●生涯学習まちづくり

問 公民館を活用した高齢者、子育て世帯への支援の考えは。

問 エコツーリズム推進法に基づいた認定への取り組みは。

答 生涯学習基本計画の学んだことを活かしたまちづくりの現況は。

●子ども・若者育成支援推進法

問 同法制定の背景にある児童虐待、ニート・フリーターの現状は。

問 エコツーリズム推進法に基づいた認定への取り組みは。



大滝地域の山容

◎ふるさと納税推進への取り組み

疾病予防対策

公明党 福井貴代

問 女性の命と健康を守る、市立病院での乳がん検診の取り組みは。

も予算額は確保されているが、具体的な内容は明示なし。困惑している。国の動向を注視し対応する。

答 女性に優しい機種を選定、設置場所を検討中。来年3月末を目途に整備を進めている。当院には女性の放射線技師がおり、女性に配慮した検査環境が図れる。

●雇用対策

問 子ども達を細菌性髄膜炎から守るヒブワクチンに公費助成を。

問 高校新卒者の就職支援は。
答 10月の就職内定率は64.65%。求人開拓員や高卒就職ジョブサポーターを任用し相談体制を整備。

問 ワクチンの副反応状況等安全性に考慮し、他市の接種状況や医師会との調整を図りながら検討。

問 市立病院での脳ドック検診と脳ドックへの助成制度は。

答 昨今の医師不足の事情のなかでは難しい状況だが、今後検討。助成制度は、限られた財源の中であり、現状では難しい。

●国の政策転換に伴う影響

問 国の第一次補正予算の一部執行停止による秩父市への影響は。

問 子どもの手当と各種控除の廃止・縮減

答 「子育て応援特別手当事業」の執行停止は誠に遺憾に思っている。その他の第一次補正予算事業は大きな影響はない。一方「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」は、国からの指示がない。「地域活性化・公共投資臨時交付金」

早期発見のため、定期的にマンモグラフィによる乳がん検診を受けましょう

40歳以上の方は定期的にマンモグラフィを撮り入れた乳がん検診を受けましょう！

乳がん検診とマンモグラフィ

- 従来で、日本の乳がん検診では、医師による触診が中心でした。しかし、2004年に厚生労働省から、「マンモグラフィを併用した乳がん検診」を推奨するようになり実施されました。これを受けて、秩父市の乳がん検診でも、マンモグラフィを導入した乳がん検診が実施されています。
- 40歳以降の方は、定期的にマンモグラフィを用いた乳がん検診で、より早期の発見が期待できています。

自己検診とマンモグラフィによる乳がん検診で早期発見に努めましょう！

早期乳がんの発見に威力を発揮する「マンモグラフィ」

マンモグラフィは、乳房専用のX線撮影のことをいいます。マンモグラフィは、触診では検出できない小さな癌や、しこりになる前の状態化した癌も乳がんの発見に威力を発揮する検査方法で、乳がんの早期発見に力がつきます。

若い人の判断に役立つ「超音波検査」

経膈超音波（エコー検査）は、乳房に超音波をあて、組織からの反射をとらえて画像にし、わずかな差の違いで癌を診断するものです。

マンモグラフィと比べて小さく、しこりや石灰化の影が写りますが、しこりの内部構造の電磁波が早く、乳癌の若い人の診断にも使うことができます。

乳がん検診を受けよう

◎離職者の生活支援